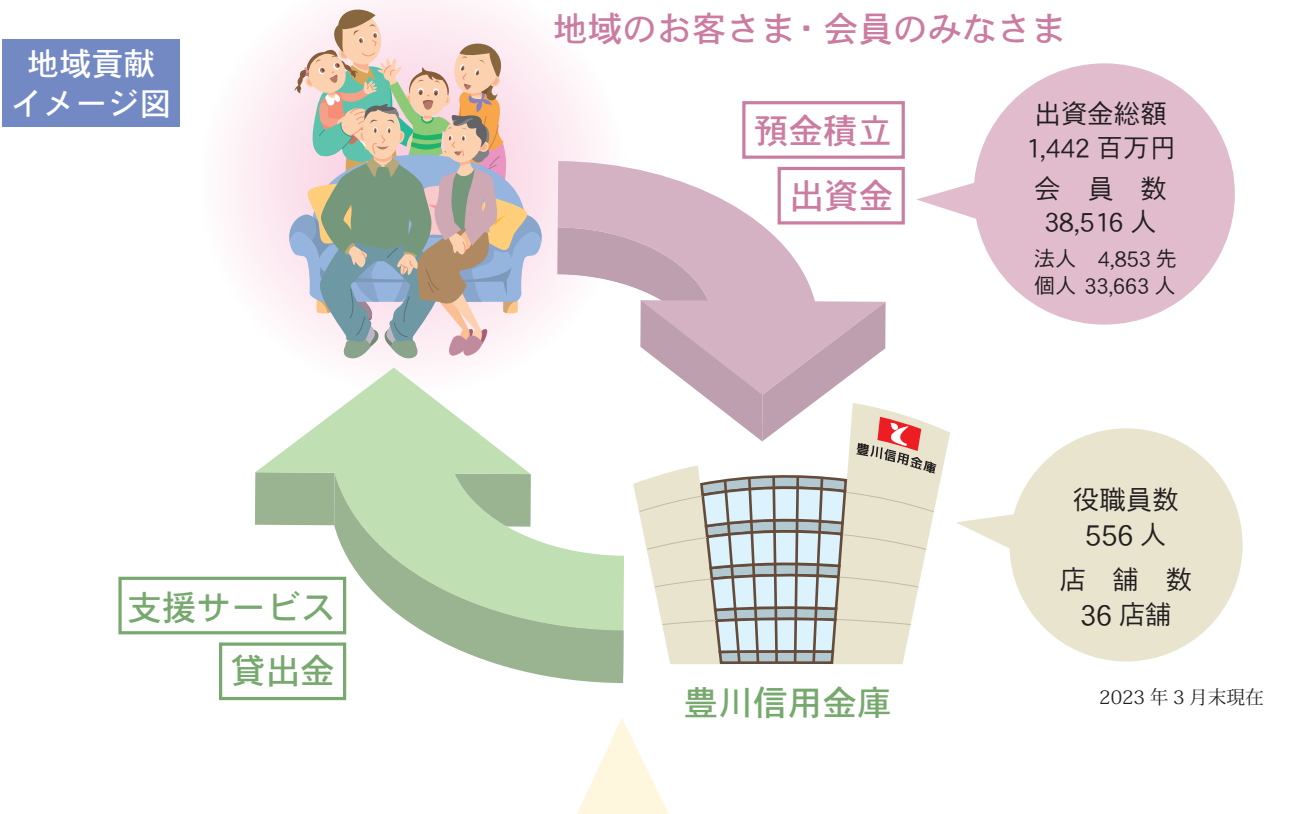


豊川信用金庫と地域社会

当金庫の地域経済活性化への取組みについて

当金庫は、東三河と岡崎地域を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。地元のお客さまからお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客さまに融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めています。

また、金融機能の提供にとどまらず、文化（環境、教育）といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。



文化的・社会的貢献に関する事項

- ①文化活動の実施
 - 各営業店ロビーにて絵画等の作品展を随時開催しています。
- ②環境への取組み
 - 全店禁煙運動を実施しています。
 - 年 2 回ごみゼロ運動に参加し店舗周辺の清掃活動を行っています。
 - 地球温暖化防止対策運動の「Fun to Share」に参加しています。
 - クールビズ・ウォームビズを実施しています。
- ③地域行事への参加
 - 地域のまつりや行事に参加しています。
- ④スポーツ振興への支援
 - 豊川シティマラソンに協賛しています。
 - 豊川市グラウンドゴルフ協会長杯争奪大会に協賛しています。
 - 豊川信用金庫理事長旗争奪剣道大会を開催しています。
- ⑤地域との関わり
 - 地域に根ざした金融機関である豊川信用金庫は、地元中小企業の発展と地域経済の活性化を支援することを目的として「かわしんオンライン商談会」を開催しました。(2022 年 10 月 6 日)

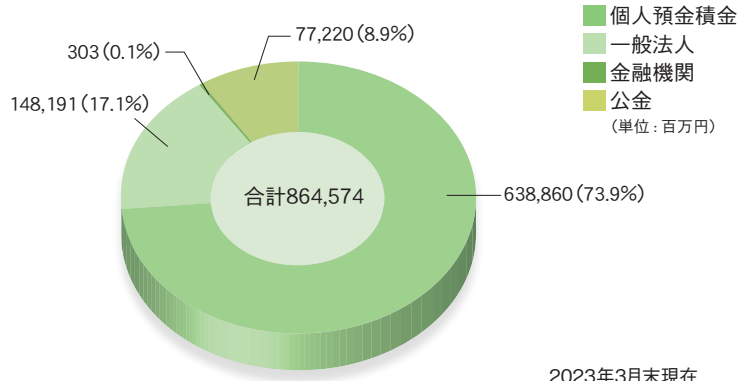
預金積金に関する事項 (地域からの資金調達状況)

2023年3月末の預金積金残高は8,645億円となりました。

これは、地域のみなさまに当金庫の健全性をご理解いただいた結果であると考えています。

当金庫では、地域のみなさまの豊かな暮らしと堅実な資産づくりのお手伝いをさせていただくために、お客さま第一主義に徹し、お客さまのニーズにあった商品・各種サービスのご提供をさせていただくとともに、年金相談会や休日相談プラザ等を通じて年金相談や資産運用等のご相談にお応えしています。

■ 預金者別預金残高

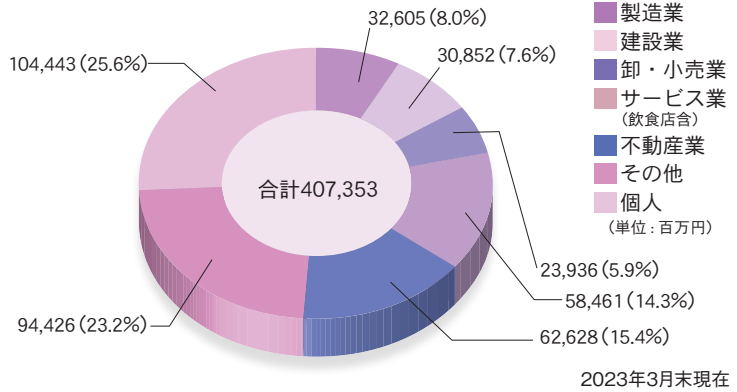


貸出金 (運用) に関する事項 (地域への資金供給状況)

2023年3月末の貸出金残高は4,073億円となりました。

お客さまからお預入れいただいた預金積金は、貸出金として地域経済の活性化に役立つ様々な資金ニーズに応え、中小企業・個人のお客さまにご融資しています。

■ 貸出金業種別内訳



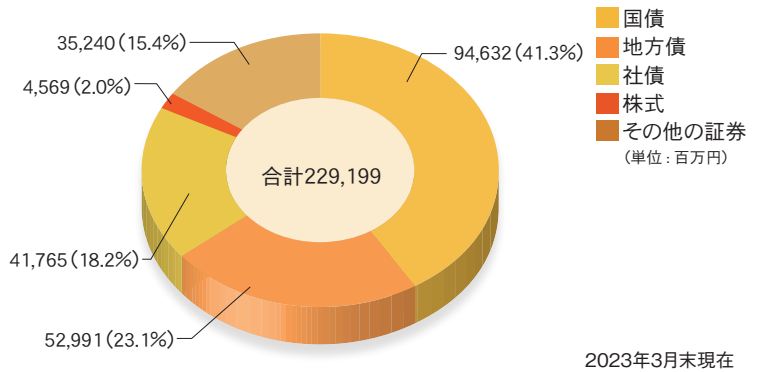
貸出金以外の運用に関する事項

貸出金以外の運用は主に有価証券で行っています。

有価証券運用は、債券を中心に行い、安定収益の確保に努めています。

有価証券以外のその他の運用は、信金中央金庫の預け金を中心とした運用を行っており、安全性を心がけています。

■ 有価証券残高



地域支援活動について

「地域密着型金融推進計画」について

当金庫は地域金融機関として、お客さまや地域経済の発展につながる「地域密着型金融」こそ、信用金庫の原点となる活動と認識しており、「円滑な地域金融仲介機能の発揮」を経営の重要課題と位置づけています。

2023年6月に、「2023～2024年度地域密着型金融推進計画」を策定・公表し、全役職員を挙げて取り組んでいます。ここで2022年度の取組結果をお知らせします。

2022年度の結果

①顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

企業のライフステージ（創業・経営改善・事業再生・事業承継等）に応じた、きめ細かい支援を行いました。創業や新事業開拓に取り組もうとするお客さまに対して、事業計画の策定支援や新商品開発、販路拡大等についてのアドバイスを実施しました。経営改善支援活動においては、営業店と本部が一体となって支援を実施しました。また、様々な経営課題を抱える取引先企業に対してよるず支援拠点など公的支援機関と連携して経営課題の分析と改善に向けた支援を行いました。事業承継支援においては、愛知県事業承継・引継ぎ支援センターを活用し、承継についてのアドバイスや承継計画の策定支援を行いました。

②地域の面的再生への積極的な参画

2023年2月18日（土）に、東三河、静岡県遠州、長野県南信州の各地域に本店を置く8信用金庫（飯田・アルプス中央・浜松いわた・島田掛川・遠州・豊橋・蒲郡・豊川）による「第15回三遠南信（8信金）しんぎんサミット」を開催しました。リアル開催で基調講演や地域解説を行い、同時にYouTubeでライブ配信しました。また、「つながる、めぐる、たべる」三遠南信の魅力再発見として観光動画を配信しました。

③地域や利用者に対する積極的な情報発信

東三河地区の企業の景気動向についてアンケート調査を行い、年4回「かわしんレポート『ふれあい』」を発行しました。

地域企業に対する経営支援の取組み

【経営改善支援の取組実績（2022年4月～2023年3月）】

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援 取組先a	aのうち期末に 債務者区分が ランクアップした 先数β	aのうち期末に 債務者区分が 変化しなかった先y	aのうち 再生計画を 策定した先数δ	経営改善支援 取組み率 =a/A	ランクアップ率 =β/a	再生計画策定率 =δ/a	
正常先①	2,490	2		0	0	0.1%		0.0%	
要注意先	うちその他 要注意先②	1,350	50	0	45	33	3.7%	0.0%	66.0%
	うち要管理先③	7	4	1	2	2	57.1%	25.0%	50.0%
破綻懸念先④	177	111	0	110	82	62.7%	0.0%	73.9%	
実質破綻先⑤	23	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	
破綻先⑥	7	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	
小計 (②～⑥の計)	1,564	167	1	157	117	10.7%	0.6%	70.1%	
合計	4,054	167	1	157	117	4.1%	0.6%	70.1%	

- ・創業支援・新事業支援融資は6先の55百万円です。
- ・個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資は5件の36百万円です。

中小企業の経営改善の取組状況

取組方針

地域密着型金融の推進のもと、お取引先企業の経営課題の解決を支援しています。

創業・経営改善・事業承継などの「ライフサイクルに応じた取引先企業への経営支援」を強化するために、お客さま企業の個々の状況に合わせたコンサルティング活動を行っています。

また、外部専門家との連携により、複雑化する様々な経営課題解決のお手伝いをしています。

態勢整備の状況

● 支援体制について

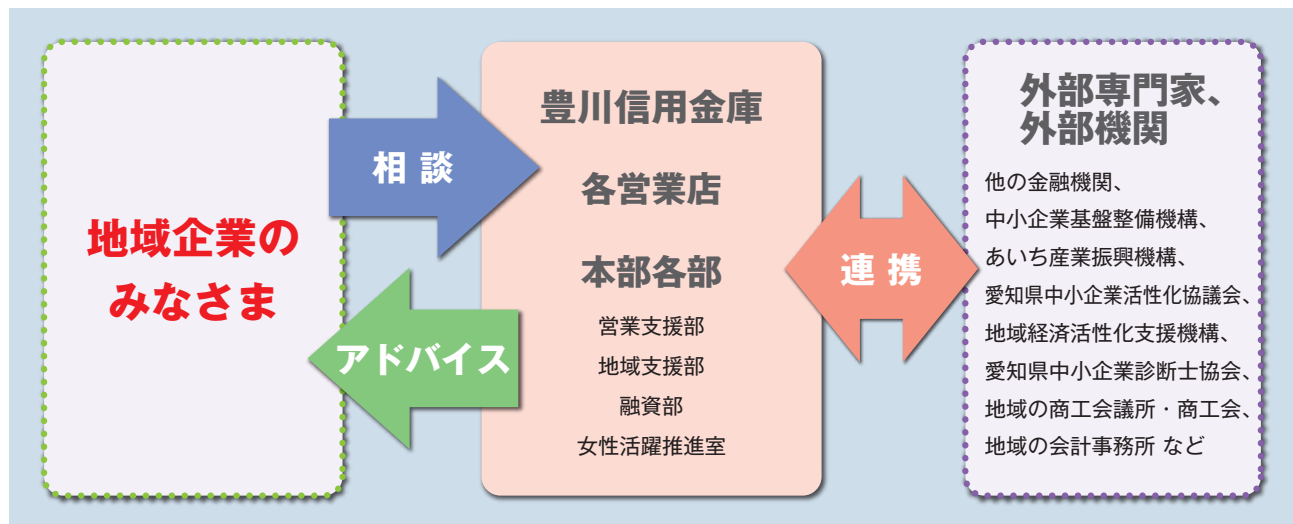
専担部署として地域支援部に地域支援課を設置し、企業のライフサイクルに応じた経営支援活動を行っています。経営改善支援先を選定し、営業店・本部が一体となった顧客企業の経営改善に取り組んでいます。

公的資格試験等合格者数（2023年4月1日時点）

中小企業診断士	7名
社会保険労務士	3名
1級ファイナンシャルプランニング技能士	8名

● 外部専門家との連携

外部専門家や外部機関と連携してお客さま企業の経営改善に取り組んでいます。



経営支援の状況

● 創業の支援

- サービス業、飲食業、小売業、製造業の創業支援を実施
- 豊川市・豊川商工会議所と連携して創業塾の開催

● 成長・事業再構築における支援

- 「かわしん Big Advance」による販路拡大支援を実施
- 生産性向上や事業・業態転換に向けたものづくり補助金や事業再構築補助金等の活用支援を実施

● 経営改善支援

- 経営改善計画の策定支援
 - 自社分析から戦略策定、課題解決策の抽出、改善のための行動プランの策定までを行い、経営改善に役立てています。
- 外部機関との連携
 - 企業が抱える様々な経営課題に対して、外部の専門家を派遣し、課題解決支援を行いました。

金融講座の開催

●「かわしんキッズ・マネースクール」

豊川市・新城市内の小学校で、「お金の大切さ」「お金の使い方」「紙幣の偽造防止技術」等を伝える金融講座を開催しました。

●「高校生金融講座」

豊川市・新城市内の高等学校で、『借りる』と『金融トラブル』について、金融講座を開催しました。2022年4月の民法改正による成年年齢引下げの注意事項等について説明しました。



ビジネスマッチング支援

●「かわしんオンライン商談会」の開催

新型コロナウイルス感染拡大を考慮したビジネスマッチング策として、2022年10月6日に「かわしんオンライン商談会」を開催しました。新たな販路獲得を目指す事業者の支援を目的に大手6社のバイヤー企業とオンラインでの商談を行いました。

豊川市防災協力事業所に認定

2022年5月23日、本店、諏訪支店、国府支店、小坂井支店、研修センターが豊川市の防災協力事業所に認定されました。大規模災害発生時の物資の提供と救援物資の保管、集積場所の提供に協力します。



地域商社みかわ株式会社を設立

当金庫 100%出資にて地域商社事業等を行う「地域商社みかわ株式会社」を2022年12月12日に設立し、2023年3月13日に開業しました。同社は、地元を中心とした特産品の販売等を通して当地域の魅力を全国へ発信し、認知度を高めることで人流を生み出すことにより、地方創生の一役を担うことを目指しています。



地域金融円滑化のための取組み

「金融円滑化対応」は、当金庫の重要課題として位置づけ、適切な対応を行っています。詳細については当金庫のホームページ (<https://www.kawa-shin.co.jp/>) で公表しています。

金融円滑化の取組みに向けた態勢整備

- ・「地域金融円滑化のための基本方針」を定め、地域金融の円滑化に取り組んでいます。

金融円滑化に関する苦情・相談窓口の設置

- ・全営業店と本部に、「金融円滑化に関する苦情・相談窓口」を設置しています。
本部窓口 経営企画部法務課 0120-89-2471(フリーダイヤル)
- ・平日、ご来店等が難しいお客さまのために、休日相談窓口を設置しています。
かわしん休日相談プラザ(本店営業部)(原則土曜日・日曜日 午前10時より午後5時まで開催)
豊川市末広通3丁目34番地1

豊川信用金庫『SDGs宣言』





当金庫は持続可能な開発目標SDGsに賛同し、地域金融機関としての事業活動を通し、持続可能な地域社会、地域環境、地域経済、人材の育成、ガバナンスの強化に取り組んでまいります。



SDGs (Sustainable Development Goals) とは、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」の略称であり、世界的な貧困や飢餓、保険医療、環境など17の目標（ゴール）と169のターゲット（達成基準）から構成されています。

具体的な取り組み

<p>環境とお客さまに優しい 牛久保支店へ</p> 	<p>豊川市防災協力事業所に認定</p> 
<p>牛久保支店は、県産木材を積極的に利用し、太陽光発電パネル、全館LED照明、窓口支援システム、バリアフリー多目的トイレ等を備え、環境とお客さまに優しい店舗に生まれ変わりました。</p>	<p>2022年5月23日、本店、諏訪支店、国府支店、小坂井支店、研修センターが豊川市の防災協力事業所に認定されました。大規模災害発生時の物資の提供と救援物資の保管、集積場所の提供に協力します。</p>
<p>地域商社みかわ株式会社を設立</p> 	<p>高校生金融講座を実施</p> 
<p>2022年12月に当金庫100%出資子会社の商社「地域商社みかわ株式会社」を設立しました。地元の特産品の販売等を通じて当地域の魅力を全国へ発信し、認知度を高め、人流を生み出すことにより、地方創生の一役を担うことを目指しています。</p>	<p>「借りる」と「金融トラブル」について、高校生金融講座を4校で実施しました。 2022年4月の民法改正による成年年齢引下げの注意事項等について説明しました。</p>



地域商社みかわ株式会社を設立



高校生金融講座の様子

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」および「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて検討するなど、適切な対応に努めています。

なお、2022年度に当金庫において、新規に無保証で融資をした件数は289件、新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は10.03%、保証契約を解除した件数は233件、当金庫をメイン金融機関として成立に至った保証債務整理の申し出はありませんでした。

金融仲介機能のベンチマークに関する開示

「金融仲介機能のベンチマーク」とは、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる指標です。この指標を用いて、自身の取組みの進捗状況や課題等について認識し、金融仲介の質を一層高めることを目的としています。当金庫では、「円滑な地域金融仲介機能の発揮」を経営の重要課題として、地域への積極的な資金供給に努めています。

共通ベンチマーク

1. 取引先企業の経営改善や成長力の強化

メインバンクとして取引を行っている企業のうち、経営指標の改善や就業者数の増加が見られた先数および同先に対する融資額の推移

	2023年3月末		2021年3月末	2022年3月末	2023年3月末
メイン先数	3,602先	経営指標等が改善した先に係る3年間の事業年度末の融資残高の推移	1,043億円	1,071億円	1,083億円
メイン先の融資額	1,746億円				
経営指標等が改善した先数	1,337先				

2. 取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

(1) 貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況

	条件変更総数	好調先	順調先	不調先
中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	168先	4先	30先	134先

(2) 関与した創業、第二創業の件数

関与した創業件数	6件	関与した第二創業件数	0件
----------	----	------------	----

(3) ライフステージ別の与信先数および融資額

	対象先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数	4,733先	225先	319先	3,638先	294先	257先
ライフステージ別の与信先に係る事業年度末の融資残高	2,550億円	72億円	224億円	1,959億円	144億円	149億円

3. 担保・保証依存の融資姿勢からの転換

事業性評価に基づく融資^(※)を行っている与信先数・融資額および全与信先数・融資額に占める割合（先数単体ベース）

	先数	融資残高		先数	融資残高
事業性評価に基づく融資を行っている与信先数および融資残高	6先	89百万円	左記計数の全与信先数および当該与信先の融資残高に占める割合	0.12%	0.03%

※「事業性評価に基づく融資」の定義

企業との十分な対話により、その事業内容や成長可能性も含めた事業性を理解することを「事業性評価」と定義し、「事業性評価」に基づき把握した企業の課題解決のために、適切なソリューション提案を行い、そこから生まれた資金需要に対し、企業の信用力に見合った金利で実行した融資を「事業性評価に基づく融資」と定義し、その定義に基づき、今期中に実行した与信先数、残高実績を記載しています。

ご意見・ご要望の取組み状況

お客さまの満足度調査

お客さまからご意見を頂戴し、お客さまに満足していただける“かわしん”をめざすため、「お客さまの満足度調査」を実施しました。

お客さまからお寄せいただいた貴重なご意見・ご要望を、今後の業務活動に活かし、役職員一同これまで以上にみなさまにご満足いただける“かわしん”をめざします。

■調査方法

1. アンケート調査要領

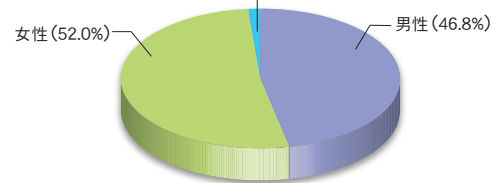
アンケート調査をお客さまにご依頼し、店頭に設置した「アンケート箱」に投函をお願いしました。

2. 調査期間 2023年2月13日～3月3日

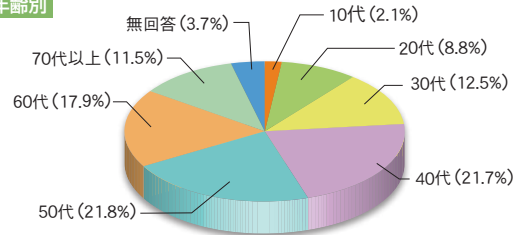
■調査結果

1. お客さま回答総数 921名
2. お客さまの内訳 (図1)

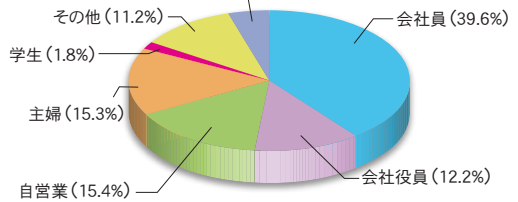
男女別 (図1)



年齢別



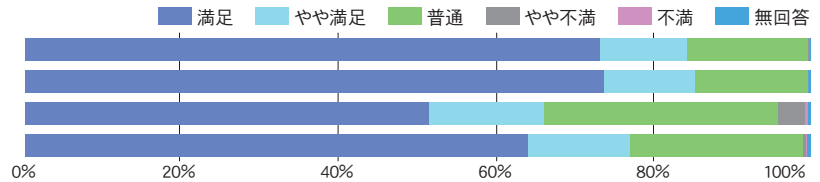
職業別



■アンケート調査回答結果

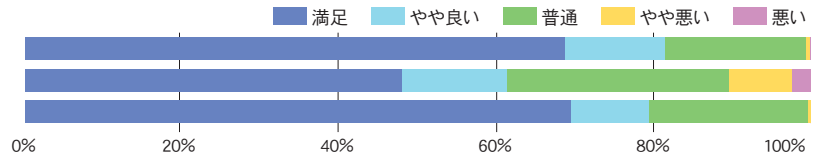
1. 職員の対応等についてお伺いします。

- ① 職員の挨拶
- ② 職員の態度・言葉づかい
- ③ 窓口での待ち時間
- ④ 相談、質問等への対応



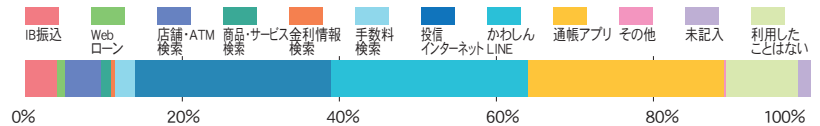
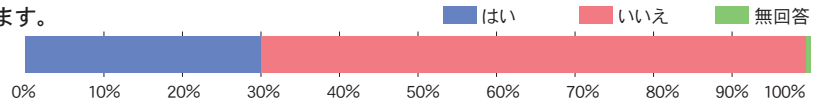
2. 店舗等についてお伺いします。

- ① 店内およびATMコーナーは清潔か
- ② 駐車場は入りやすいか
- ③ 店内のウイルス対策はどうか

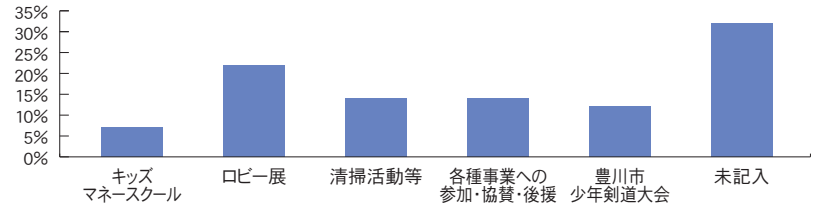


3. 当金庫のホームページについてお伺いします。

- ① ホームページをご覧になったことがありますか
- ② 「はい」と答えた方へ
当金庫ホームページはどのような目的でご利用されていますか



4. 地域貢献活動への取り組みについてお伺いします。



5. ご意見、ご要望等について (抜粋)

- ・何度同じ事 (ATM入金) をたずねても、いやな顔をせず対応してもらえ、うれしいです。(70代以上女性 専業主婦)
- ・剣道の試合には感謝しています。(40代男性 会社員)
- ・いつもありがとうございます。他信金さん銀行さんより、相談しやすく店舗の雰囲気がとても良いです。(50代女性 会社員)
- ・引き続き地域貢献をよろしく願います。(50代女性 会社員)
- ・いつも笑顔で気持ちよく利用させていただいています。
職員さんが質問しやすくわかりやすく説明してくれるので嬉しいです。(40代女性 会社員)